

Tachikoku Times

No.0025 6月号

東京都立立川国際中等教育学校
<http://www.tachikawachuto-e.metro.tokyo.jp>

Saturday June 20, 2020

タチコク教育活動再開!



新型コロナウイルス感染症の対応に伴う「緊急事態宣言」が解除され、本校でも教育活動が再開となりました。5月29日(金)に160名の新入生を迎え、新1年生対象の「入学ガイダンス」を行いました。校長の挨拶の後、新入生代表生徒の「誓いの言葉」があり、新しい学校生活への抱負を力強く述べる新入生の姿がありました。6月1日(月)から各学年の生徒は分散して登校、初日は今後の学校生活、授業の進め方についての説明を聞きました。約3か月間の臨時休校の中、自らの力で家庭学習を進め、多くを蓄えてきた生徒がたくさんいました。

6月5日(金)から教科の授業が始まり、各教室で「生徒・教員



入学ガイダンス
校長挨拶(要約)

・黒板」が揃う授業風景が見られました。普段の教育活動に戻るにはまだ数週間かかりますが、少しずつ生徒が学校で生活する時間を延ばし、通常の授業や、委員会をはじめとする生徒会活動、そして多くの生徒が楽しみにする部活動を段階的に進めていきます。

新入生の皆さんの入学を心から歓迎します。学校生活を充実したものにしていくために、心がけてほしいことが2点あります。

1点目は、「夢や目標を達成するための方法」についてです。アメリカ大リーグで活躍したイチロー選手によれば、頑張れば何とか手に届くところに目標を設定すること、そしてそれを継続することが大切だということです。スモールステップの目標を継続することの大切さです。

2点目は、「凡事徹底」です。当たり前のことを当たり前にするということ、この「凡事徹底」をコツコツと愚直に継続することで、皆さんは一年後大きく成長します。それが、周りからの「信頼」と、皆さんの「自信」につながります。皆さんは、学校生活の中でしっかりと、この二つの「目標を達成するための方法」と「凡事徹底」を実践してください。

「3密」を防ぎながら

6月5日(金)から再開した教科の授業は、第6学年を除き、各クラスの生徒を2つのグループに分けて行っています。通常の人数の半分の約20名程の生徒が午前と午後に分かれて「1日3時間」の授業を受けています。

登校時には健康観察を行い、「手の消毒」「健康観察表」の提出を行っています。また、「3密」にならないように、教室では生徒が座る場所に間隔を設け、さらに換気にも気を配っています。生徒も教員もマスクを着用し、廊下を歩く際も、右側通行などの通行区分の徹底を図っています。



前期課程の 給食も開始

6月15日(月)から「第Ⅲ期(本校ではステージ3)」に入り、午前と午後に授業がある「6時間」の授業が再開。6時間授業に伴い、前期課程の「給食」も始まりしました。

入学後初めての給食となる1年生。小学校の時とは違う準備の方法に少し戸惑っていましたが、配膳などが完了し、「いただきます」の号令がかかると、おいしそうに食べていました。各クラスの人数を半分のグループにした分散登校の中での給食なので、生徒が対面せず、全員が教室の正面を向いた状態、さらに「おしゃべりNG」で、少し違和感がありますが、約2週間はこの状態で給食を行います。分散登校が終わり、クラス全員が揃って会話をしながら、楽しい給食時間になる日が待ち遠しいです。

